

令和7年度 出資団体評価シート

1 基本情報

団体名	(公財)札幌市芸術文化財団	所管課	市)文化振興課
基本財産	81,212千円	記入者	担当 林 電話 011-211-2261
設立年月日	昭和61年(1986年) 4月1日	本市出資額	40,606千円 (出資割合 50.0%)
設立・出資目的	札幌からの新しい芸術文化の創造を目指し、芸術文化に関し、広く一般に、参加と鑑賞の機会を提供するとともに、優れた創作活動の奨励を図り、もって市民の豊かな情操の涵養と我が国の芸術文化の向上発展に寄与することを目的とする。	出資年月日	昭和61年(1986年) 4月1日
代表者	理事長(非常勤) 秋元 克広(市長)	沿革	昭和61年 (財)札幌芸術の森設立 平成11年 (財)札幌市教育文化財団と統合し、 平成19年 (財)札幌市芸術文化財団へ名称変更 平成25年 (財)札幌彫刻美術館と統合 公益財団法人へ移行
主な出資者	① 札幌市 (50.0%) ② 札幌市芸術文化財団 (43.8%) ③ 北海道新聞社 (0.6%) ④ 毎日新聞社北海道支社 (0.6%) ⑤ 朝日新聞社北海道支社 (0.6%) ⑥ 読売新聞社北海道支社 (0.6%)		
団体所在地	〒005-0864 札幌市南区芸術の森2丁目75番地		電話 011-521-5114

2 実施事業

(詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① 札幌芸術の森及び本郷新記念札幌彫刻美術館の管理・運営事業 (5ページ)	② 札幌コンサートホールの管理・運営事業 (6ページ)
【芸術の森】文化芸術都市さっぽろのシンボルとして施設の管理運営を行うとともに、多数の展覧会や観賞会、サッポロ・シティ・ジャズ等の事業を主催し、「制作・研修機能」、「情報・交流機能」、「鑑賞・発表機能」を持つ新しい文化芸術の場を創出する。 【彫刻美術館】施設の管理運営を行うとともに、多くの展覧会を開催し、彫刻を中心とした美術の振興を図る。	国内有数の音響を誇る音楽専用ホールとして、施設の管理運営を行うとともに、著名演奏家の招聘や親しみある演奏会の開催など、数多くのコンサートを主催し、音楽文化環境の創造や音楽文化の普及振興を図る。
③ 札幌市教育文化会館の管理・運営事業 (7ページ)	④ 札幌市民ギャラリーの管理・運営事業 (8ページ)
音楽、舞踊、演劇、美術等の舞台芸術の制作及び発表の場として、施設の管理運営及び多彩な事業を展開し、本市の舞台芸術の振興を図る。	各種展覧会の拠点会場として、市民の使用に供するために施設の管理運営を行い、本市の文化芸術の振興を図る。
⑤ 札幌市民交流プラザの管理・運営事業 (9ページ)	⑥
舞台芸術、音楽、美術等の企画、制作及び実施等を通じて、文化芸術活動及び生涯学習の振興と人々の来訪及び交流の促進を図ることにより、市民の創造性を育むとともに、市民生活の質の向上と地域のにぎわいの創出に寄与する。	⑧
⑦	⑧
(2)総支出に占める事業支出割合	98.4% (主要事業支出合計 4,105,070千円 ÷ 総支出 4,169,728千円)
(3)主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	■ 十分出ている □ 高める余地あり □ 出していない
理由	当団体は、文化芸術施設の管理運営と多彩な主催事業の実施により、市民が優れた文化芸術に親しむ機会や環境を数多く提供しており、設立目的に対する事業効果は高い。今後も、団体の持つ専門性を生かして他団体や施設と連携を図ることで、一層の事業効果を生み出していくことが求められる。
(4)主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	■ 実施されている □ 一部見直す必要がある □ 実施されていない
理由	幅広い分野において多彩な文化芸術事業を展開するとともに円滑な施設運営が行われている。これらは、文化芸術に対する市民の関心や理解を深めることに寄与するものであり、当団体の設立目的に合致した事業展開がなされていると評価できる。

3 団体職員・構成員等

令和7年4月1日現在(単位:人)

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成			
役員						10歳代	0	40歳代	21
常勤理事	1	0	0	0	11	20歳代	22	50歳代	21
常勤監事	0	0	0	0		30歳代	46	60歳代	1
非常勤理事			8			平均年齢		38.6	歳
非常勤監事			2						
職員									
常勤管理職	4	6	12	3	216				
常勤一般職	1	0	99	65					
非常勤職員			26						

役員の任期		
理事	2	年
監事	4	年
代表権のある役員の就任年月		
理事長	H27.6	
副理事長	R7.7	
職員総数の推移(人)		
R05.4.1時点	215	
R06.4.1時点	218	

4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区 分				R5年度決算	R6年度決算	(経常収益比)	(前年比)	
財務状況	正味財産増減計算書	正味財産増減計算書	経常増減	経常収益(a)	3,745,794	4,024,040	(100.0%)	(+278,246)
				経常費用(b)	3,701,897	4,169,728		(+467,831)
				うち管理費等(c)	14,619	15,324	(0.4%)	(+705)
				うち人件費(d)	1,046,927	1,173,306	(29.2%)	(+126,379)
				当期経常増減額(e)	43,897	▲ 145,688		(▲ 189,585)
		当期正味財産増減額(f)	35,993	▲ 154,842		(▲ 190,835)		
	貸借対照表	資産(g)	資産(g)	2,698,768	2,706,502		(+7,734)	
			流動資産(h)	1,257,628	1,082,015		(▲ 175,613)	
			固定資産(i)	1,441,140	1,624,487		(+183,347)	
			うち基本財産(j)	81,212	81,212		(0)	
		負債(k)	負債(k)	742,102	904,679		(+162,577)	
			流動負債(l)	569,827	688,985		(+119,158)	
			固定負債(m)	172,275	215,694		(+43,419)	
		正味財産(n)	1,956,666	1,801,823		(▲ 154,843)		
	借入金残高(o)	0	0		(0)			

R6年度決算の概要

区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a	経常収益(a)は前年比2億7,800万円余の増加となった。教育文化会館の営業再開や賃金スライド制度による人件費補填等で受取指定管理費が1億500万円余の増加となった。また、利用料金収益や入場料収益なども増加となった。
b	経常費用(b)は前年度比4億6,700万円余の増加となった。教育文化会館の営業再開により前年度比2億7,400万円余の費用増加のほか、人材確保の観点から職員の給与水準を引き上げたことによる人件費増加が主な要因となった。
n	上記の結果、1億5,400万円余の赤字となったが、特定費用準備資金をはじめ、令和2年度から令和5年度にかけて生じた剰余金を財源にした予算に基づく費用執行のため、直ちに経営への影響が生じるものではない。

※詳細は、別添の貸借対照表、正味財産増減計算書を参照。

5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区 分	R5年度決算	R6年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	52,853	144,468	(+91,615)
市委託料	2,683,335	2,789,109	(+105,774)
市業務委託料	3,900	3,900	(0)
うち随意契約	3,900	3,900	(0)
市指定管理費	2,679,435	2,785,209	(+105,774)
うち非公募	2,598,676	2,703,441	(+104,765)
(参考) 再委託額	1,165,364	1,410,572	(+245,208)
うち市業務委託分	0	0	(0)
再委託率	(43.4%)	(50.6%)	(+7.1%)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高	0	0	(0)
損失補償等限度額	0	0	(0)
損失補償契約等に係る債務残高	0	0	(0)
(参考) 市施設利用料金収入	532,012	563,559	(+31,547)
うち非公募	512,408	545,214	(+32,806)

6 財務指標に基づく評価

(金額単位:千円)

項 目		R5年度	R6年度	(前年比)	評価基準	備 考
(1)健全性	剰余金(n-j)	1,875,454	1,720,611	(▲ 154,843)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n+g)	72.5%	66.6%	(▲ 5.9%)	≥50%	正味財産+資産
	流動比率(h+i)	220.7%	157.0%	(▲ 63.7%)	≥150%	流動資産+流動負債
	固定比率(i+n)	73.7%	90.2%	(+ 16.5%)	≤100%	固定資産+正味財産
	借入金依存度(o+g)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	借入金残高+資産
(2)生産性	職員一人当り経常収益	17,422千円	18,459千円	(+ 1,037千円)	前年比較増	経常収益+職員総数
	人件費率(経常収益比)(d+a)	27.9%	29.2%	(+ 1.2%)	前年比較減	人件費+経常収益
	職員一人当り管理費	68千円	70千円	(+ 2千円)	前年比較減	管理費等+職員総数
	管理費率(経常収益比)(c+a)	0.4%	0.4%	(▲ 0.0%)	前年比較減	管理費等+経常収益
(3)自立性	市依存度（収入）	84.6%	84.4%	(▲ 0.2%)	前年比較減	市収入(注1)+経常収益
	市財政的関与割合(収入)	87.2%	86.9%	(▲ 0.3%)	前年比較減	市収入(注2)+経常収益
健全性の評価		■ 非常に高い □	高い □	概ね健全 □	やや低い □	低い □
理由	健全性については、自己資本比率、流動比率、固定比率の各数値が前年度から悪化しているものの、引き続き評価基準を上回る数値を維持している。 生産性については、最低賃金の引き上げ等により人件費率(経常収益比)が増加したものの、前年に比べ入場料収益や受取助成金額が増加したことにより、職員一人当り経常収益は増加した。 また、自立性については、市文化芸術施設の管理運営等を主要事業としており、依存度、財政的関与割合の両数値は本市への財政的依存度が高いことを示している。このことから、本市以外の助成金や協賛金の獲得など、自立性の向上を図る必要がある。					

(注1)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料(随意契約分)+市指定管理費(非公募分)+市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料+市指定管理費+市施設利用料金収入

7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、年度ごとの指標(※2)の達成状況とその評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

(1)出資・出捐

○取組計画		現状値 (R 5 年度)		R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	備考
No.	指標名							
	○出資比率の維持							
①	市出資金	目標		40,606千円 (出資比率50%)	40,606千円 (出資比率50%)	40,606千円 (出資比率50%)	40,606千円 (出資比率50%)	
		実績	40,606千円 (出資比率50%)	40,606千円 (出資比率50%)	-	-	-	
		評価	達成					
未達成理由と今後の対応（R 6 年度の評価が未達成の場合のみ記載する）								

(2)人的関与

○取組計画		現状値 (R 5 年度)	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	備考
No.	指標名						
○理事・評議員の就任、市派遣職員の継続							
①	市派遣職員数	目標		5 名	5 名	5 名	5 名
		実績	5 名	5 名	-	-	-
		評価	達成				
②	市職員の理事就任数	目標		2 名	2 名	2 名	
		実績	2 名	2 名	-	-	-
		評価	達成				
③	市職員の評議員就任数	目標		1 名	1 名	1 名	1 名
		実績	1 名	1 名	-	-	-
		評価	達成				
未達成理由と今後の対応（R 6 年度の評価が未達成の場合のみ記載する）							

(3)団体の活用

○取組計画		現状値 (R 5 年度)	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	備考	
No.	指標名							
	○「札幌市文化芸術基本計画」の実現に向けた文化芸術施設の有効活用							
①	文化芸術施設（6施設）の満足度	目標		90.00%	90.00%	90.00%	90.00%	
		実績	95.30%	95.30%				
		評価	達成					
未達成理由と今後の対応（R 6 年度の評価が未達成の場合のみ記載する）								

(4)更なる経営の安定化

○取組計画		現状値 (R 5 年度)	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	備考	
No.	指標名							
○事業編成の見直しによる収支均衡の保持								
①	当期経常収支	目標	0千円以上	0千円以上	0千円以上	0千円以上		
		実績	43,897千円	▲145,689千円				
		評価	未達成					
未達成理由と今後の対応（R 6 年度の評価が未達成の場合のみ記載する）								
特定費用準備資金をはじめ、令和2年度から令和5年度までの決算で生じた剰余金を財源にした予算編成を行ったため。（令和6年度当期経常収支予算：▲160,919千円） 上記予算に基づく費用執行を行ったため、直ちに財団の経営に影響があるものではない。令和7年度以降も引き続き健全な運営に努めたい。								

(5)団体統制

○取組計画		現状値 (R 5 年度)		R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	備考
No.	指標名							
	○内部管理体制の強化							
①	コンプライアンス関連研修 の受講率	目標		100%	100%	100%	100%	
		実績	100%	100%				
		評価		達成				
②	情報セキュリティ関連研修 の受講率	目標		100%	100%	100%	100%	
		実績	100%	100%				
		評価		達成				
未達成理由と今後の対応（ R 6 年度の評価が未達成の場合のみ記載する）								

(6)札幌市の施策との連動

○取組計画		現状値 (R 5 年度)	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	備考	
No.	指標名							
	○障がいのある方の自立支援							
①	障害者就労支援施設からの 物品調達や業務委託件数	目標	40件	40件	40件	40件		
		実績	38件	48件				
		評価	達成					
②	障がいのある方の雇用人数	目標	4 (法定4)	4 (法定4)	4 (法定4)	4 (法定4)		
		実績	2 (法定4)	2				
		評価	未達成					
未達成理由と今後の対応（R 6 年度の評価が未達成の場合のみ記載する）								
障がいのある方の雇用については、令和 5 年度に引き続き北海道障害者職業センター等の相談機関と連携し、積極的な採用活動を展開し新規雇用を実現したもの、年度中の任期満了による退職もあり、目標値である法定雇用数を 2 名下回る結果となった。令和 6 年度中の採用活動の強化により、令和 7 年 5 月に新規雇用 1 名を確保し、現在の在籍数は 3 名となっている。今後も法定雇用人数確保に向けて、採用活動を継続するとともに、現職員の定着を図るため、支援体制の確保や職員研修の充実などにも取り組む。								

8 情報公開等の状況

ホームページ公開情報	
ホームページアドレス	https://sapporo-caf.org/
Eメールアドレス	secretariat@sapporo-caf.org
【経営状況等】 ■ 定款 ■ 事業報告書 ■ 役員名簿 ■ 決算書 □ 団体機構図 ■ 中長期的な経営計画 ■ 事業計画書 ■ 予算書	
【事業情報等】 □ 実施事業（イベント）情報 □ その他（ ■ 管理施設情報 ）	
ホームページ以外の情報媒体	
広報誌・冊子の発行：	広報誌 1.芸術の森 ニュースリリース「今週の芸森。」 施設総合案内パンフレット（日本語版・英語版） 子供向け夏・冬休みイベント情報誌「もりくる」 2.コンサートホール KitaraNEWS、年間主催公演スケジュール 3.教育文化会館 情報誌「Raku」、告知ペーパー「ACT」 4.市民ギャラリー 札幌市民ギャラリー 展覧会のご案内 5.市民交流プラザ wave times+（広報誌） 「創成おさんぽMAP」「ホテルグルメ特集」（会員特典情報掲載） 札幌文化芸術劇場 hitaru 主催事業スケジュール

※特記ない限り、本評価シートの情報は令和7年7月1日現在のものです。

事業評価 (1) 札幌芸術の森管理・運営事業

1. 事業概要	事業所管課： 市民文化局文化部文化振興課	担当： 林	電話： 011-211-2261
(1)事業内容	【札幌芸術の森】 ① 施設の管理運営 ② 主催事業 (1) 音楽・舞台芸術事業 (2) 芸術の森美術館事業 (3) 工芸・工房事業 (4) 利用促進他 【本郷新記念札幌彫刻美術館】 ① 施設の管理運営 ② 主催事業 (1) 展覧会事業 (2) 本郷新記念札幌彫刻賞 (3) 貸館事業 (4) 普及事業 (5) 協力事業 (6) 利用促進		市指定管理費(非公募) 707,712 市補助金 11,125
(2)事業目的	【札幌芸術の森】 芸術文化都市さっぽろのシンボルとして、個性ある新しい札幌文化を育てることを目指し、「制作・研修機能」、「情報・交流機能」、「鑑賞・発表機能」を持つ新しい芸術文化の場を創出し、札幌が誇りとする豊かな大自然と、都市、芸術、文化が調和した環境の形成を目的とする。 【本郷新記念札幌彫刻美術館】 本市ゆかりの彫刻家である本郷新の業績を顕彰するとともに、本市における彫刻を中心とした美術の振興を図ることで、本市の文化芸術の振興に寄与することを目的とする。		
(3)事業開始	【札幌芸術の森】 昭和61年(1986年)7月27日 【本郷新記念札幌彫刻美術館】 昭和56年(1981年)6月29日		

2. 実施結果

(1)事業 収支 (単位 千円)	項目	R5年度	R6年度	(前年比)	
	収入	913,702	885,832	(▲ 27,870)	
	(経常収益比)	(24.4 %)	(22.0 %)		
	市補助金・交付金・負担金	11,125	11,125	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	706,929	707,712	(+783)	
	市施設利用料金収入	74,424	53,271	(▲ 21,153)	
	自主事業収入(補助金除く)	19,687	16,991	(▲ 2,696)	
	その他収入	101,537	96,733	(▲ 4,804)	
	費用(支出)	922,804	953,596	(+30,792)	
	事業費	851,925	910,055	(+58,130)	
	管理費等	70,879	43,541	(▲ 27,338)	
	収支差	▲ 9,102	▲ 67,764	(▲ 58,662)	
	収支比率	99.01%	92.89%	(▲ 6.12%)	
(2)活動指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
①	芸術文化を核として、一般の方々の交流・参加する機会を提供する事業	33事業	33事業	43事業	43事業
②	優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、裾野を拡大する事業	66事業	65事業	75事業	70事業
③	トレーニングや発表の場等の提供による人材育成事業	18事業	24事業	27事業	19事業
④	地元芸術家等の紹介及び活動を支援する振興事業	20事業	18事業	23事業	17事業
⑤	利用促進のためのサービス向上、営業、広報活動事業	39事業	32事業	34事業	37事業
⑥					
(3)成果指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
①	芸術の森 総入園者数(人)	503,747	500,000	325,612	500,000
②	芸術の森 利用者アンケート結果(%) (施設、職員対応等が「普通」以上の割合)	96	95	95	95
③	彫刻美術館 入館者数(人)	12,548	13,500	16,361	14,000
④	彫刻美術館 利用者アンケート結果(%) (施設、職員対応等が「普通」以上の割合)	97	95	98	95
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は	<input type="checkbox"/> 十分出ている	<input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり	<input type="checkbox"/> 出していない
	芸術の森では、多彩な展覧会を実施し、創意工夫をしながら事業実施に努めた点は高く評価できるものの、展覧会入場者数の伸び悩みや、野外美術館謎解きイベントの開催期間が当初計画よりも短縮したことが要因となり、入園者数は目標値を下回った。展覧会をはじめ、市民や観光客にとって魅力ある事業の実施に努めていただきたい。 彫刻美術館では、主催展覧会のほか多彩な普及事業を開催する等、集客に向けた工夫を行い、多くの市民に文化芸術に触れる機会を提供したことについて高く評価できる。			
(2)収支状況	当該事業の収支状況は	<input type="checkbox"/> 良好	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善
	芸術の森の収支状況については、美術館展覧会の入場者数減等により収支が悪化し、厳しい経営状況が続いている。民間助成金の獲得等に努めるとともに、安定的な施設運営を行っていくために事業内容の見直しや効率化を図り、経費削減に一層取り組んでいく必要がある。			

事業評価 (2) 札幌コンサートホールの管理・運営事業

1. 事業概要	事業所管課： 市民文化局文化部文化振興課	担当： 林	電話： 011-211-2261
(1)事業内容	① 施設の管理運営 ② 主催事業 (1) 音楽鑑賞事業 (2) 音楽普及事業 (3) 教育・人材育成事業 (4) 全国ホール等とのネットワーク事業 (5) その他事業（名義共催公演） (6) 利用促進・PR活動 (7) チケット等販売事業 (8) Kitaraボランティアとの連携		
(2)事業目的	音楽の鑑賞その他音楽に関する活動の場を提供すること及び音楽に関する事業を行うことにより、音楽芸術の振興及び音楽を通じた人材育成・国際交流の推進を図ることを目的とする。		
(3)事業開始	平成9年(1997年)7月1日		

2. 実施結果

(1)事業 収 支 (単位 千円)	項目	R5年度	R6年度	(前年比)	
	収入	953,084	990,211	(+37,127)	
	(経常収益比)	(25.4 %)	(24.6 %)		
	市補助金・交付金・負担金	28,915	30,915	(+2,000)	
	市業務委託料	3,900	3,900	(0)	
	市指定管理費	627,219	632,301	(+5,082)	
	市施設利用料金収入	177,020	179,794	(+2,774)	
	自主事業収入（補助金除く）	8,249	12,087	(+3,838)	
	その他収入	107,781	131,214	(+23,433)	
	費用（支出）	984,032	1,002,900	(+18,868)	
	事業費	925,898	962,437	(+36,539)	
	管理費等	58,134	40,463	(▲17,671)	
	収支差	▲30,948	▲12,689	(+18,259)	
	収支比率	96.85%	98.73%	(+1.88%)	
(2)活動指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
①	芸術文化を核として、一般の方々の交流・参加する機会を提供する事業	17事業	20事業	28事業	25事業
②	優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、裾野を拡大する事業	68事業	92事業	97事業	78事業
③	トレーニングや発表の場等の提供による人材育成事業	13事業	15事業	23事業	20事業
④	地元芸術家等の紹介及び活動を支援する振興事業	22事業	33事業	37事業	29事業
⑤	利用促進のためのサービス向上、営業、広報活動事業	30事業	29事業	53事業	45事業
⑥					
(3)成果指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
①	利用率（大ホール）（%）	84	86	86	86
②	総利用人数（人）	295,558	375,000	317,982	375,000
③	利用者アンケート結果（%） （施設、職員対応等が「普通」以上の割合）	96	96	97	96
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は	<input type="checkbox"/> 十分出ている	<input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり	<input type="checkbox"/> 出していない
	各主催事業では、質の高い多様な公演を実施し、市民へ音楽鑑賞の機会を提供するとともに、地元音楽家への活動支援や世界的音楽家からの指導を受けることができるセミナーを実施するなど、音楽文化の普及・人材育成にも力を入れていることは高く評価できる。 総利用人数では、目標を下回っているため、引き続き多彩な公演やその魅力を発信する広報によって、さらなる改善に向け取り組んでいくことが求められる。			
(2)収支状況	当該事業の収支状況は	<input type="checkbox"/> 良好	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり	<input type="checkbox"/> 要改善
	多彩な公演の実施等により、入場料収益の確保に努めていることは評価できる。収支均衡に向けて、経費削減に努め収支改善を図るほか、新たなスポンサー確保も期待したい。			

事業評価 (3) 札幌市教育文化会館の管理・運営事業

1. 事業概要	事業所管課： 市民文化局文化部文化振興課	担当： 林	電話： 011-211-2261
(1)事業内容	① 施設の管理運営 ② 主催事業 (1) 舞台芸術に関する事業 (2) 文化芸術活動を行う人材の育成 (3) 札幌市民芸術祭 (4) 広報活動		
(2)事業目的	文化芸術及び教育活動の中心的な施設として、音楽、舞踊、演劇、美術等の制作及び発表の場に供し、それらの事業を行うことで、本市の舞台芸術の振興を図ることを目的とする。		
(3)事業開始	昭和52年(1977年)7月15日		

2. 実施結果

(1)事業 収 支 (単位 千円)	項目	R5年度	R6年度	(前年比)	
	収入	231,712	507,207	(+275,495)	
	(経常収益比)	(6.2 %)	(12.6 %)		
	市補助金・交付金・負担金	2,000	83,503	(+81,503)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	228,146	322,084	(+93,938)	
	市施設利用料金収入	139	68,834	(+68,695)	
	自主事業収入(補助金除く)	216	24,443	(+24,227)	
	その他収入	1,211	8,343	(+7,132)	
	費用(支出)	237,058	543,251	(+306,193)	
	事業費	230,825	526,901	(+296,076)	
	管理費等	6,233	16,350	(+10,117)	
	収支差	▲ 5,346	▲ 36,044	(▲ 30,698)	
	収支比率	97.74%	93.37%	(▲ 4.38%)	
(2)活動指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
①	芸術文化を核として、一般の方々の交流・参加する機会を提供する事業	12事業	15事業	15事業	17事業
②	優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、裾野を拡大する事業	38事業	42事業	42事業	43事業
③	トレーニングや発表の場等の提供による人材育成事業	19事業	24事業	24事業	26事業
④	地元芸術家等の紹介及び活動を支援する振興事業	18事業	22事業	22事業	22事業
⑤	利用促進のためのサービス向上、営業、広報活動事業	6事業	8事業	9事業	9事業
⑥					
(3)成果指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
①	大ホール利用率 (%)	-	80	89	80
②	総利用者数 (人)	-	290,000	223,649	580,000
③	利用者アンケート結果 (%) (施設、職員対応等が「普通」以上の割合)	-	93	94	95
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は	<input type="checkbox"/> 十分出ている	<input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり	<input type="checkbox"/> 出していない
	大ホール利用率は目標値を上回ったものの、休館明けの諸室利用が伸び悩んでいるため、今後も積極的に施設利用者登録の推進や利用促進に繋がる取組に励んでいただきたい。 主催事業では、施設の機能や特性を十分に生かし、質の高い伝統芸能公演を提供したことは高く評価できる。特にリニューアルオープンを記念した野外イベントでは、他財団施設や地域住民と連携のうえ、伝統芸能の振興や今後の自主事業の誘客に寄与しただけでなく、市民の能楽関心を高める契機となった。			
(2)収支状況	当該事業の収支状況は	<input type="checkbox"/> 良好	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり	<input type="checkbox"/> 要改善
	野外イベントの実施により、大規模改修に伴う施設休館中(令和5年1月～令和6年9月)も事業収入を確保したことは評価できる。今後も収支不足解消のため、施設利用の増加や経費削減に対する取組を検討・実践し、収支均衡に向けて一層努めること。			

事業評価 (4) 札幌市民ギャラリーの管理・運営事業

1. 事業概要	事業所管課： 市民文化局文化部文化振興課	担当： 林	電話： 011-211-2261
(1)事業内容	① 施設の管理運営 ② 主催事業 (1) 市民ギャラリー美術映画会 ※一部中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため） (2) 市民ギャラリースプリングコンサート		
(2)事業目的	市指定管理費(公募) 81,768		
(3)事業開始	市指定管理費(公募) 81,768		
(2)事業目的	展覧会、展示会のための会場として市民の使用に供すること及び各種事業を行うことで、本市の文化芸術の振興に寄与することを目的とする。		
(3)事業開始	昭和57年(1982年)2月28日		

2. 実施結果

項目		R5年度	R6年度	(前年比)	
(1)事業収支 (単位 千円)	収入 (経常収益比)	101,374 (2.7 %)	101,393 (2.5 %)	(+19)	
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	80,759	81,768	(+1,009)	
	市施設利用料金収入	19,604	18,345	(▲1,259)	
	自主事業収入(補助金除く)	825	865	(+40)	
	その他収入	186	415	(+229)	
	費用(支出)	99,431	100,539	(+1,108)	
	事業費	95,930	99,177	(+3,247)	
	管理費等	3,501	1,362	(▲2,139)	
収支差	1,943	854	(▲1,089)		
収支比率	101.95%	100.85%	(▲1.10%)		
(2)活動指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
①	芸術文化を核として、一般の方々の交流・参加する機会を提供する事業	4事業	3事業	3事業	4事業
②	優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、裾野を拡大する事業	9事業	7事業	7事業	9事業
③	トレーニングや発表の場等の提供による人材育成事業	4事業	3事業	3事業	4事業
④	地元芸術家等の紹介及び活動を支援する振興事業	4事業	4事業	4事業	4事業
⑤	利用促進のためのサービス向上、営業、広報活動事業	2事業	2事業	2事業	2事業
⑥					
(3)成果指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
①	展示室の利用率(%)	83	85	83	85
②	入場者数(人)	146,682	135,000	120,628	135,000
③	利用者アンケート結果(%) (施設、職員対応等が「普通」以上の割合)	95	93	95	93
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は	<input type="checkbox"/> 十分出ている	<input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり	<input type="checkbox"/> 出していない
	重量壁改修工事に伴う休館などが要因となり、展示室の利用率及び入場数は目標に到達しなかった。今後も施設稼働率向上のため、利用者サービスの提供や、新規団体・個展開催者への積極的な働きかけに努めていただきたい。 主催事業では、PRキャラクターのグッズをイベントの景品にするなど、子どもが多いという地域の特性を活かし、若い世代も積極的に参加できるイベントを数多く開催したことは高く評価できる。			
(2)収支状況	当該事業の収支状況は	<input checked="" type="checkbox"/> 良好	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	<input type="checkbox"/> 要改善
	光熱水費の高騰の影響を受けながらも、ほぼ計画通りの収支を実現しており評価できる。今後も利用料金収入及び自主事業収入の増加に取り組まれない。			

事業評価 (5) 札幌市民交流プラザの管理運営事業

1. 事業概要	事業所管課： 市民文化局文化部文化振興課	担当： 林	電話： 011-211-2261
(1)事業内容	① 施設の管理運営 ② 主催事業 1 札幌文化芸術劇場に関する事業 (1) 創造事業 (2) 鑑賞事業 (3) 普及・育成事業 (4) 交流事業 (5) 舞台技術向上への取組 2 札幌文化芸術交流センターに関する事業 (1) 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業 (2) 文化芸術活動支援事業・文化芸術に関する調査研究事業 3 広報・利用促進に関する事業 (1) 広報 (2) 利用促進		
	市指定管理費(非公募) 1,041,344 市補助金 13,276 市負担金 5,649		
(2)事業目的	舞台芸術、音楽、美術等の企画、制作及び実施等を通じて、文化芸術活動及び生涯学習の振興と人々の来訪及び交流の促進を図ることにより、市民の創造性を育むとともに、市民生活の質の向上と地域のにぎわいの創出に寄与することを目的とする。		
(3)事業開始	平成28年（2016年）4月1日		

2. 実施結果

(1)事業 収 支 （ 単 位 千 円 ）	項目	R5年度	R6年度	(前年比)	
	収入	1,548,033	1,541,264	(▲ 6,769)	
	(経常収益比)	(41.3 %)	(38.3 %)		
	市補助金・交付金・負担金	10,813	18,925	(+8,112)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	1,036,382	1,041,344	(+4,962)	
	市施設利用料金収入	260,825	243,315	(▲ 17,510)	
	自主事業収入（補助金除く）	54,737	47,547	(▲ 7,190)	
	その他収入	185,276	190,133	(+4,857)	
	費用（支出）	1,477,014	1,504,784	(+27,770)	
	事業費	1,396,888	1,442,411	(+45,523)	
	管理費等	80,126	62,373	(▲ 17,753)	
	収支差	71,019	36,480	(▲ 34,539)	
	収支比率	104.81%	102.42%	(▲ 2.38%)	
(2)活動指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
①	芸術文化を核として、一般の方々の交流・参加する機会を提供する事業	16事業	5事業	46事業	32事業
②	優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、裾野を拡大する事業	74事業	53事業	83事業	63事業
③	トレーニングや発表の場等の提供による人材育成事業	43事業	14事業	51事業	49事業
④	地元芸術家等の紹介及び活動を支援する振興事業	32事業	15事業	24事業	21事業
⑤	利用促進のためのサービス向上、営業、広報活動事業	14事業	14事業	12事業	16事業
⑥					
(3)成果指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
①	札幌文化芸術劇場ホール利用率（%）	92	90	85	85
②	札幌文化芸術交流センター利用率（%）	88	85	94	80
③	来館者数（図書・情報館含む）	1,523,758	1,400,000	1,561,125	1,360,000
④	利用者アンケート結果（%）（施設、職員対応等が「普通」以上の割合）	95	80	97	80
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない			
	劇場利用率は目標をやや下回ったものの、練習室や文化芸術交流センターの利用は目標を上回り、施設および事業に関する広報・宣伝活動を積極的に展開したことで、総来館者数は156万人に達した。今後も利用者の声を参考に、より利用しやすい施設となるよう、常に対応改善を検討されたい。 主催事業では、多面舞台と最新の舞台機能を生かしたクオリティの高い舞台芸術に親しむ場を市民に提供し、多彩な事業を数多く展開したことは高く評価できる。			
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善			
	収入確保のほか、事業の効率化、光熱費など諸経費の節約削減に努めたことは評価できる。引き続き収入の増加に取り組むとともに、経費削減、効率的な運営に努めること。			

様式1-1

貸借対照表
令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	672,003,220	1,004,953,072	△332,949,852
未収金	319,513,422	169,108,731	150,404,691
未収収益	2,051,225	2,111,114	△59,889
前払金	12,273,833	7,057,618	5,216,215
仮払金	28,170	77,874	△49,704
立替金	689,202	2,400,825	△1,711,623
商品	15,842,234	15,476,611	365,623
仕掛品	966,000	730,000	236,000
貯蔵品	58,648,120	55,711,971	2,936,149
流動資産合計	1,082,015,426	1,257,627,816	△175,612,390
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
預金	3,075,675	1,426,875	1,648,800
投資有価証券	78,136,000	79,784,800	△1,648,800
基本財産合計	81,211,675	81,211,675	-
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	215,694,013	172,275,138	43,418,875
基金引当資産	869,011,518	874,921,518	△5,910,000
周年事業準備資金	120,400,000	64,700,000	55,700,000
記念事業準備資金	25,200,000	37,700,000	△12,500,000
既存事業拡大準備資金	261,300,000	140,000,000	121,300,000
器具備品	4	114,173	△114,169
特定資産合計	1,491,605,535	1,289,710,829	201,894,706
(3) その他固定資産			
建物	1,814,934	3,320,853	△1,505,919
車両運搬具	136,196	272,390	△136,194
器具備品	36,301,012	50,290,200	△13,989,188
美術品	1,920,000	1,920,000	-
ソフトウェア	11,332,419	14,249,048	△2,916,629
敷金	165,000	165,000	-
その他固定資産合計	51,669,561	70,217,491	△18,547,930
固定資産合計	1,624,486,771	1,441,139,995	183,346,776
資産合計	2,706,502,197	2,698,767,811	7,734,386
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	360,142,789	291,543,869	68,598,920
未払費用	38,575,706	41,483,679	△2,907,973
未払法人税等	2,072,400	4,637,500	△2,565,100
未払消費税等	10,703,700	13,591,400	△2,887,700
前受金	263,379,473	206,447,002	56,932,471
預り金	14,110,784	12,123,096	1,987,688
流動負債合計	688,984,852	569,826,546	119,158,306
2. 固定負債			
退職給付引当金	215,694,013	172,275,138	43,418,875
固定負債合計	215,694,013	172,275,138	43,418,875
負債合計	904,678,865	742,101,684	162,577,181
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金等	807,417,139	813,327,139	△5,910,000
寄付金	89,061,083	89,175,252	△114,169
指定正味財産合計	896,478,222	902,502,391	△6,024,169
(うち基本財産への充当額)	(81,211,675)	(81,211,675)	-
(うち特定資産への充当額)	(815,266,547)	(821,290,716)	△6,024,169
2. 一般正味財産	905,345,110	1,054,163,736	△148,818,626
(うち特定資産への充当額)	(460,644,975)	(296,144,975)	164,500,000
正味財産合計	1,801,823,332	1,956,666,127	△154,842,795
負債及び正味財産合計	2,706,502,197	2,698,767,811	7,734,386

様式2-1

正味財産増減計算書
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	477,886	240,657	237,229
基本財産受取利息	477,886	240,657	237,229
② 特定資産運用益	7,544,010	7,210,236	333,774
特定資産受取利息	7,544,010	7,210,236	333,774
③ 事業収益	3,744,482,894	3,578,331,543	166,151,351
受取指定管理費	2,785,199,100	2,679,435,000	105,764,100
利用料金収益	563,558,291	532,012,012	31,546,279
受講料収益	28,146,000	27,788,650	357,350
入場料収益	209,510,225	169,561,804	39,948,421
商品売上金収益	16,084,527	17,199,165	△1,114,638
出品料収益	326,015	307,350	18,665
受託販売手数料収益	16,685,112	18,400,779	△1,715,667
広告料収益	96,085,000	94,400,000	1,685,000
見学科収益	926,500	76,000	850,500
受託業務収益	5,775,000	-	5,775,000
管理許可等収益	11,835,752	9,396,281	2,439,471
共催事業決算金収益	10,351,372	29,754,502	△19,403,130
④ 受取補助金等	145,557,465	119,281,886	26,275,579
受取地方公共団体補助金	55,516,465	52,852,886	2,663,579
受取民間補助金	1,500,000	-	1,500,000
受取民間助成金	19,753,000	150,000	19,603,000
受取国庫助成金	68,788,000	66,279,000	2,509,000
⑤ 受取負担金	115,569,255	31,206,959	84,362,296
受取負担金	115,569,255	31,206,959	84,362,296
⑥ 受取寄付金	764,169	614,860	149,309
受取寄付金	650,000	500,000	150,000
特定資産受贈益振替額	114,169	114,860	△691
⑦ 雑収益	9,643,841	8,907,525	736,316
雑収益	9,643,841	8,907,525	736,316
経常収益計	4,024,039,520	3,745,793,666	278,245,854
(2) 経常費用			
① 事業費	4,154,404,829	3,687,278,101	467,126,728
役員報酬	6,480,000	7,998,750	△1,518,750
給料手当	662,044,521	593,188,324	68,856,197
賃金	284,565,693	267,145,165	17,420,528
退職給付費用	44,248,591	17,782,728	26,465,863
福利厚生費	165,935,671	151,628,231	14,307,440
旅費交通費	41,315,358	39,753,374	1,561,984
通信運搬費	20,775,413	18,442,394	2,333,019
減価償却費	26,533,771	27,625,342	△1,091,571
消耗什器備品費	6,593,148	15,818,069	△9,224,921
商品売上原価	8,616,325	9,213,112	△596,787
消耗品費	85,834,599	91,341,258	△5,506,659
図書費	316,023	919,383	△603,360
修繕費	40,350,204	27,944,553	12,405,651
印刷製本費	66,056,126	58,844,301	7,211,825
燃料費	35,832,225	39,373,605	△3,541,380
光熱水費	514,153,415	446,243,050	67,910,365
賃借料	45,914,854	53,979,105	△8,064,251
保険料	4,294,164	4,089,259	204,905
諸謝金	287,917,322	260,759,741	27,157,581
報償費	8,515,271	8,857,705	△342,434
交際費	24,570	2,592	21,978
食糧費	6,482,388	3,371,299	3,111,089
広告料	45,995,550	46,959,066	△963,516
手数料	30,519,673	28,147,002	2,372,671
租税公課	93,270,757	97,873,985	△4,603,228
支払負担金	45,992,758	28,526,316	17,466,442
支払寄付金	108,301,532	4,041,712	104,259,820
委託費	1,447,655,480	1,321,886,789	125,768,691
管理許可等費用	11,835,752	9,396,281	2,439,471
支払助成金	6,911,173	5,469,506	1,441,667
雑費	1,080,000	540,000	540,000
雑損失	42,502	116,104	△73,602

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
②管理費	15,323,525	14,618,846	704,679
役員報酬	720,000	888,750	△168,750
給料手当	6,930,148	6,254,830	675,318
賃金	433,154	490,012	△56,858
退職給付費用	489,154	207,726	281,428
福利厚生費	1,458,984	1,342,645	116,339
旅費交通費	154,517	109,504	45,013
通信運搬費	220,004	221,674	△1,670
減価償却費	351,251	132,763	218,488
消耗品費	166,795	122,565	44,230
図書費	528	536	△8
修繕費	21,508	442,037	△420,529
印刷製本費	91,550	97,492	△5,942
賃借料	645,510	656,697	△11,187
保険料	29,400	25,904	3,496
諸謝金	16,500	-	16,500
報償費	3,905	2,213	1,692
交際費	2,730	-	2,730
食糧費	9,393	5,876	3,517
広告料	200,292	130,300	69,992
手数料	329,554	320,608	8,946
租税公課	5,329	1,665	3,664
支払負担金	157,718	172,450	△14,732
委託費	2,765,601	2,932,599	△166,998
雑費	120,000	60,000	60,000
経常費用計	4,169,728,354	3,701,896,947	467,831,407
評価損益等調整前当期経常増減額	△145,688,834	43,896,719	△189,585,553
当期経常増減額	△145,688,834	43,896,719	△189,585,553
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	-	-	-
(2)経常外費用			
固定資産除却損	1,057,392	191,351	866,041
建物除却損	332,599	-	332,599
器具備品除却損	724,793	191,351	533,442
経常外費用計	1,057,392	191,351	866,041
当期経常外増減額	△1,057,392	△191,351	△866,041
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△146,746,226	43,705,368	△190,451,594
税引前当期一般正味財産増減額	△146,746,226	43,705,368	△190,451,594
法人税、住民税及び事業税	2,072,400	4,637,500	△2,565,100
当期一般正味財産増減額	△148,818,626	39,067,868	△187,886,494
一般正味財産期首残高	1,054,163,736	1,015,095,868	39,067,868
一般正味財産期末残高	905,345,110	1,054,163,736	△148,818,626
II 指定正味財産増減の部			
(1)基本財産運用益	477,886	240,657	237,229
基本財産受取利息	477,886	240,657	237,229
(2)特定資産運用益	7,544,010	7,210,236	333,774
特定資産受取利息	7,544,010	7,210,236	333,774
(3)特定資産評価損	5,910,000	2,960,000	2,950,000
特定資産評価損	5,910,000	2,960,000	2,950,000
(4)特定資産償還損	-	-	-
特定資産償還損	-	-	-
(5)一般正味財産への振替額	△8,136,065	△7,565,753	△570,312
一般正味財産への振替額	△8,136,065	△7,565,753	△570,312
当期指定正味財産増減額	△6,024,169	△3,074,860	△2,949,309
指定正味財産期首残高	902,502,391	905,577,251	△3,074,860
指定正味財産期末残高	896,478,222	902,502,391	△6,024,169
III 正味財産期末残高	1,801,823,332	1,956,666,127	△154,842,795